

英文学

授業科目名	授業題目	単位数	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
英文学概論	劇(ドラマ)と上演—ギリシア悲劇から近代劇まで	2	大貫 隆史	4	水曜2限
英文学基礎講読Ⅰ	Somerset Maughamの短編を読む	2	三枝 和彦	3	火曜5限
英文学基礎講読Ⅱ	Graham Greeneの短編を読む4	2	三枝 和彦	4	火曜5限
英文学・英語学基礎講読Ⅰ	戦後英国短編小説集	2	TINK JAMES MICHAEL	3	木曜3限
英文学・英語学基礎講読Ⅱ	ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』愛の発明	2	TINK JAMES MICHAEL	4	木曜3限
英語文化論各論	21世紀の分断された世界／社会と英国カルチャー	2	大田 信良	5	集中講義
比較文化論各論	異文化間映画:初期映画1890-1940	2	TINK JAMES MICHAEL	5	月曜3限
英文学講読	ウィリアム・シェイクスピア、『リア王』と世界文学	2	TINK JAMES MICHAEL	6	月曜2限
英文学演習Ⅰ	Thomas Hardy, The Return of the Native (1)	2	大貫 隆史	5	水曜3限
英文学演習Ⅱ	Thomas Hardy, The Return of the Native (2)	2	大貫 隆史	6	水曜3限
英文学演習Ⅲ	英語詩:抒情詩における時間、空間、そして世界	2	TINK JAMES MICHAEL	5	月曜2限
英語圏文学・文化研究実践演習Ⅰ	研究発表の実践	2	大貫 隆史、講師(非)	5	金曜3限
英語圏文学・文化研究実践演習Ⅱ	研究発表の実践(発展的)	2	大貫 隆史、講師(非)	6	金曜3限

科目名：英文学概論

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：4 単位数：2

担当教員：大貫 隆史

コード：LB43302, 科目ナンバリング：LHM-LIT203J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：劇（ドラマ）と上演--ギリシア悲劇から近代劇まで

2・授業の目的と概要：劇（ドラマ）を研究することは、その作品内容を研究するだけではなく、その形式・かたち（forms）を研究することでもあります。本講義では、レイモンド・ウィリアムズ『上演のなかの劇（ドラマ）』を参照しながら、後者の「かたち（forms）」の問題を、アクション（action）という観点から、ギリシア悲劇から現代の翻案映画（文学作品などを原案にして製作された映画）まで考察していきます。「アクション（action）」という観点から劇（ドラマ）を考えると、「言葉」と「行為・行動」の関係や距離を歴史的に考察することが可能になりますが、この観点は、小説研究にも役立つこととなります。

3. 学習の到達目標：（1）演劇（ドラマ）の基本的な形式について理解を深める
（2）コミュニケーションとしての文学という観点への理解を深める
（3）英語の原書を読解できる英語能力を涵養する

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イン트로ダクション
2. ソフォクレス『アンティゴネー』（1）
3. ソフォクレス『アンティゴネー』（2）
4. イングランドの中世劇（1）
5. イングランドの中世劇（2）
6. シェイクスピア『アントニーとクレオパトラ』（1）
7. シェイクスピア『アントニーとクレオパトラ』（2）
8. ジョージ・リロ『ロンドンの商人』（1）
9. ジョージ・リロ『ロンドンの商人』（2）
10. シェイクスピア『ハムレット』とイブセン『ソールハウグの宴』（1）
11. シェイクスピア『ハムレット』とイブセン『ソールハウグの宴』（2）
12. アントン・チェーホフ『かもめ』（1）
13. アントン・チェーホフ『かもめ』（2）
14. イングマール・ベルイマン監督『野いちご』（1）
15. イングマール・ベルイマン監督『野いちご』（2）

5. 成績評価方法：発表と授業参加 40%・レポートないしは試験 60%

6. 教科書および参考書：教科書：プリントを配布します。

参考書：Raymond Williams, Drama in Performance (Open University Press 1991)

7. 授業時間外学習：授業時間外学習：予習箇所を事前に必ず学習してくること

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学基礎講読 I

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：3 単位数：2

担当教員：三枝 和彦

コード：LB32505, 科目ナンバリング：LHM-LIT215J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：Somerset Maugham の短編を読む

2・授業の目的と概要：サマセット・モーム (Somerset Maugham, 1874-1965) は現代イギリスの代表的な作家の一人で、小説、演劇、旅行記、評論など様々なジャンルで数多くの面白い作品を残しています。一般に「簡易平明」な文体で書く大衆作家と目されていますが、その文章を正確に読むにはしっかりとした語彙や文法の知識と文章の流れを把握する力が必要です。この授業では、モームの短めの短編を読むことによって、英文読解力と同時に、文学作品について考えたり意見を述べたりする力を育むことを目的とします。

3. 学習の到達目標：(1) 英語の語彙や文法の知識を増やす。
(2) 英語で書かれた小説を正確に読むことができるようになる。
(3) 文学作品について考えたり意見を述べたりすることができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

予定に従って授業ごとにひとつの短編を読みます。

担当者が作品についてレジュメを作成して発表し、それをもとにクラス全体で議論します。

発表の方法とレジュメの作り方は第1回の授業で説明します。

各授業の終わりに、その授業の内容について短いコメントを書きます。

第1回 オリエンテーション

第2回 "The Luncheon"

第3回 "The Ant and Grasshopper"

第4回 "Home"

第5回 "The Escape"

第6回 "The Happy Man"

第7回 "The Poet"

第8回 "The Promise"

第9回 "A String of Beads"

第10回 "The Bum"

第11回 "The Social Sense"

第12回 "The Verger"

第13回 "A Friend in Need"

第14回 "The Consul"

第15回 "The Dream"

5. 成績評価方法：授業への参加と発表 (40%)、コメントペーパーの提出 (30%)、期末レポート (30%)

6. 教科書および参考書：小説テキストはファイルを提供します。

7. 授業時間外学習：予習として、必ずテキストを読んでください。特に、発表担当者は入念な準備 (レジュメの作成) が必要です。

復習として、テキストを読み直し、授業内容を振り返って知識の定着を図りましょう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学基礎講読Ⅱ

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：4 単位数：2

担当教員：三枝 和彦

コード：LB42503, 科目ナンバリング：LHM-LIT216J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：Graham Greene の短編を読む 4

2・授業の目的と概要：グレアム・グリーン (Henry Graham Greene, 1904-1991) は 20 世紀の代表的なイギリス人作家であり、その作品には政治や宗教、道徳的ジレンマなどの問題がテーマとして織り込まれています。それらは文学性の高さと娯楽性を兼ね備えたものとして高く評価されています。グリーンは短編小説の名手でもあり、数多くの作品を残しました。この授業では、グリーン of 短め of 短編を読むことによって、語りの妙味を味わいながら、英文読解力を向上させると同時に、文学作品について考えたり意見を述べたりする力を育むことを目的とします。

- 3. 学習の到達目標：**(1) 英語の語彙や文法の知識を増やす。
(2) 英語で書かれた小説を正確に読むことができるようになる。
(3) 文学作品について考えたり意見を述べたりすることができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

予定に従って授業ごとにひとつの短編を読みます。

担当者が作品についてレジュメを作成して発表し、それをもとにクラス全体で議論します。

発表の方法とレジュメの作り方は第 1 回の授業で説明します。

各授業の終わりに、その授業の内容について短いコメントを書きます。

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 "The Hint of an Explanation"
- 第 3 回 "When Greek Meets Greek"
- 第 4 回 "Across the Bridge"
- 第 5 回 "A Drive in the Country"
- 第 6 回 "A Chance for Mr Lever"
- 第 7 回 "The Eng of the Party"
- 第 8 回 "A Dream of a Strange Land"
- 第 9 回 "Cheep in August"
- 第 10 回 "The Root of All Evil"
- 第 11 回 "Two Gentle People"
- 第 12 回 "The Last Word"
- 第 13 回 "The News in English"
- 第 14 回 "The Lieutenant Dies Last"
- 第 15 回 "The Lottery Ticket"

5. 成績評価方法：授業への参加と発表 (40%)、コメントペーパーの提出 (30%)、期末レポート (30%)

6. 教科書および参考書：小説テキストはファイルを提供します。

7. 授業時間外学習：予習として、必ずテキストを読んでください。特に、発表担当者は入念な準備 (レジュメの作成) が必要です。

復習として、テキストを読み直し、授業内容を振り返って知識の定着を図りましょう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学・英語学基礎講読 I

曜日・講時：木曜 3 限

セメスター：3 単位数：2

担当教員：TINK JAMES MICHAEL

コード：LB34301, 科目ナンバリング：LHM-LIT217E, 使用言語：英語

1. 授業題目：戦後英国短編小説集

2・授業の目的と概要：本講座では、英国文学における「戦後」期（1945 年～2000 年代）を考察する。短編小説を厳選して読み、第二次世界大戦後の文学における文学的・歴史的・文化的文脈の中で考察します。主な研究テーマは以下の通りです：短編小説の様式、戦後イギリスの社会階級と変容、ジェンダーとアイデンティティ、科学・技術・環境、近代文学史の理解と時代区分。

3. 学習の到達目標：1: 英語で短編小説を読むこと

2: 1945 年以降の文学の文化的背景を理解すること

3: クラスディスカッションやグループワークを通じて英語の読解力を向上させること

4: 英語で学術的な文章を書くこと

5: 異文化コミュニケーション能力と専門知識を向上させること

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1: 序論

2. エリザベス・ボウエン「神秘のコー」

3. ジャン・リス「蓮」

4. アラン・シリトー「漁船の絵」

5. V.S. ナイポール「完璧な借家人」*

6. テッド・ヒューズ「雨の馬」

7. ドリス・レスリング「19 号室へ」

8. ミュリエル・スパーク「有名な詩人の家」

9. J・G・バラード「宇宙時代の記憶」

10. フェイ・ウェルドン「週末」

11. アンジェラ・カーター「肉と鏡」

12. アンナ・カヴァン『ジュディとバズーカ』*

13. ベリル・バインブリッジ『手を叩け、チャーリーが来たぞ』

14. サルマン・ラシュディ『預言者の髪』

15. サミュエル・ベケット『ピン』

5. 成績評価方法：Reaction comments 30% Tests 40% Final Report 30%

6. 教科書および参考書：Bradbury, Malcolm, ed. The Penguin Book of Modern British Short Stories. (1987). Penguin, 2011.

7. 授業時間外学習：短い英文課題、エッセイ 1 本、小テスト

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学・英語学基礎講読Ⅱ

曜日・講時：木曜3限

セメスター：4 単位数：2

担当教員：TINK JAMES MICHAEL

コード：LB44301, 科目ナンバリング：LHM-LIT218E, 使用言語：英語

1. 授業題目：ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』愛の発明

2・授業の目的と概要：『ロミオとジュリエット』は世界文学において最も有名な恋愛物語の一つである。その世界的な影響力により、ウィリアム・シェイクスピアの戯曲の中でも最も人気のある作品となっている。本講座ではシェイクスピアの戯曲の原文英語版を学び、ルネサンス期英国演劇、世界悲劇、ロマンティックな愛の概念、そして現代的なティーンエイジャー概念の形成における本作の歴史的重要性を多角的に考察する。毎週授業で劇の一部を共に学び、複数の映画版を觀賞することで、作品の解釈や表現の多様性を探ります。さらに日本における本作の世界的意義についても考察します。

3. 学習の到達目標：1: シェイクスピアの戯曲を英語で読むこと

2: 批評的観点から演劇を考察すること

3: 文学を通じて異文化理解のスキルを高めること

4: クラスでの議論を通じて異文化コミュニケーションを向上させること

4. 授業の内容・方法と進度予定：

第1: シェイクスピア入門

第2: 『ロミオとジュリエット』第一幕を読む

第3: 第一幕

第4: 第二幕

第5: 第二幕

第6: 第三幕

第7: 第三幕

第8: 第四幕

第9: 第四幕

第10: 第五幕

第11: 第五幕

第12: 『ロミオとジュリエット』の遺産

第13: ポピュラー文化における『ロミオとジュリエット』

第14: グローバルなシェイクスピア

第15: 試験

5. 成績評価方法：評価方法：短文反応作文（段落単位）30%小論文課題 30%中間試験と期末試験 40%

6. 教科書および参考書：教科書：ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』。レックス・スミス編。ケンブリッジ・スクール・シェイクスピア。ケンブリッジ大学出版局、2014年。

7. 授業時間外学習：短い英語のライティング課題；英語で5段落構成のエッセイ

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：英語文化論各論

曜日・講時：集中講義

セメスター：5 単位数：2

担当教員：未定

コード：LB98815, 科目ナンバリング：LHM-LIT305J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：21世紀の分断された世界／社会と英国カルチャー

2. 授業の目的と概要：21世紀の分断された社会・世界の範例をいくつか取り上げたうえで、資本主義世界のグローバル化における文化を、英国カルチャーに注目しながら学ぶ。具体的には、『ラスト・クリスマス』・『クレイジー・リッチ』・『沈黙の制裁』といった映像テキストを取り上げる予定である。ただし、それと同時に、教科書を用いながら、戦後日本の文化に存在したイングリッシュ・スタディーズをユーラシアの全体性においてとらえ直す。

3. 学習の到達目標：21世紀の分断された世界／社会についてのイメージ・概念をさまざまなメディア・テキストを通じて体験することにより、グローバル化以降の資本主義世界にもつ英国カルチャーの意味を、理解することができる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 インTRODクシヨン
- 2 分断された世界／社会とグローバル化以降の資本主義世界の文化
- 3 分断された世界／社会と英国
- 4 『ラスト・クリスマス』
- 5 分断された世界／社会と米国
- 6 『クレイジー・リッチ』
- 7 分断された世界／社会と韓国
- 8 『SKY キャッスル』
- 9 『国家が破産した日』
- 10 アジア通貨危機
- 11 『沈黙の大陸』
- 12 分断された世界／社会とロシア
- 13 『沈黙の制裁』
- 14 分断された世界／社会とインド——『スーパー30』
- 15 まとめと試験

5. 成績評価方法：リアクション・ペーパーによる平常点（40%） 期末試験（60%）

6. 教科書および参考書：教材は各回の授業で担当者が提示する。

7. 授業時間外学習：期末試験に備え、毎回の講義内容の復習を行うこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：比較文化論各論

曜日・講時：月曜 3 限

セメスター：5 単位数：2

担当教員：TINK JAMES MICHAEL

コード：LB51302, 科目ナンバリング：LHM-LIT338E, 使用言語：英語

1. 授業題目：異文化間映画：初期映画 1890-1940

2・授業の目的と概要：映画はグローバルな近代性の主要な芸術形態である。20 世紀初頭に発明された映画技術は急速に世界中に広がり、今日でもメディアに影響を与え続ける国内・国際的な映画製作の基盤を確立した。インターネットの普及により視聴習慣は変化したものの、その影響力は持続している。本講義では、映画という形態の発展、スタジオ産業としての映画制作、社会的習慣としての映画鑑賞といった基本的な事象を考察し、米国・欧州・日本の映画史における最初の 50 年間を比較検討する。無声映画の代表作と、音声付き映画の最初の 10 年間を検証する。主なトピックには、映画用語の重要概念、芸術的ジャンルの定義（例：リアリズム、表現主義、メロドラマ、ホラー）、異文化交流の歴史が含まれる。

3. 学習の到達目標：1: 1980 年から 1940 年にかけての米国、欧州、日本の映画史の基礎を紹介する。

2: 映画研究を理解するための主要概念を紹介する。

3: 映画の事例を鑑賞し、それに対する反応について議論できる。

4: 国際的な映画文化を比較することで、より深い異文化理解を獲得する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

講義 1：序論

2：起源：アトラクション映画

3：物語映画

4：ハリウッドとアメリカ映画

5：ヨーロッパのサイレント映画

5：メロドラマ

6：リアリズム

7：表現主義

8：モダニズムと政治

8：初期日本映画

9：音響と音楽

10：時代劇

11：ホラー

12：ドキュメンタリー映画

13：日本家庭映画

14：日本時代劇

15：結論：1940 年の映画

5. 成績評価方法：講義後の反応コメント 50%筆記課題 25%コース最終試験 25%

6. 教科書および参考書：教科書は不要です：教材は通常オンラインで入手可能です。

7. 授業時間外学習：講義コース終了時には、英語による定期的な短いコメントと長めのエッセイ課題が提出されます。反応コメントのため、毎週の出席が推奨されます。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

背景知識として、マイケル・ウッド著『映画：超入門』（オックスフォード大学出版局、2012 年）および／またはドナ・コーハーバー著『サイレント映画：超入門』（オックスフォード大学出版局、2020 年）をお読みください。

科目名：英文学講読

曜日・講時：月曜 2限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：TINK JAMES MICHAEL

コード：LB61201, 科目ナンバリング：LHM-LIT319E, 使用言語：英語

1. 授業題目：ウィリアム・シェイクスピア、『リア王』と世界文学

2. 授業の目的と概要：ウィリアム・シェイクスピアの悲劇『リア王』は、現代世界文学において最も有名な悲劇の一つである。17世紀以来、現代演劇の定番作品として頻繁に翻訳・再解釈され、黒澤明の『乱』など数々の重要な映画の着想源ともなった。20世紀に入ると、その極端なテーマと内容ゆえにシェイクスピア悲劇の中で最も批評的論争を呼ぶ作品となり、フェミニズム批評、歴史主義批評、精神分析批評など多様な解釈の対象となる論争的な戯曲としての地位を今なお保っている。本講座ではシェイクスピアの戯曲の諸版を読み、鑑賞し、近世イングランドの戯曲としての側面と、その後の異文化間・国際的文学批評における評価の両面から考察する。毎週、劇を部分ごとに読み進め、上演例を鑑賞し、関連するトピックについてクラスで議論します。各授業終了後、Google Classroom を利用した感想や質問の投稿を推奨します。

3. 学習の到達目標：1: シェイクスピアの『リア王』を原語の英語で読むこと。

2: 様々な演劇公演を観劇し、シェイクスピアの戯曲がどのように解釈され得るかを理解すること。

3: 世界文学の一形態としての悲劇の異文化間における意義について考察すること。

4: 授業活動を通じて、英語の読解力とコミュニケーション能力を向上させること。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

第1週：導入

2: リア王 第1幕

3: リア王 第1幕

3: リア 第2幕

4: リア 第2幕

5: リア 第3幕

6: リア 第3幕

7: リア 第3幕

8: リア 第4幕

9: リア 第4幕

10: リア 第5幕

11: リア 第5幕

12: リアと現代文学

13: リア王と日本文化

15: まとめと試験

5. 成績評価方法：反応コメント 30%テスト 30%小論文 40%

6. 教科書および参考書：シェイクスピア『リア王』R. A. フォークス編アーデン・シェイクスピア第三シリーズ

7. 授業時間外学習：英語での短い課題の執筆；完成したエッセイ 1本。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

(授業で学ぶように) この戯曲の原典は複数存在するため、異なる版では内容が若干異なる場合があることに留意してください。

9. その他：

科目名：英文学演習 I

曜日・講時：水曜 3 限

semester：5 単位数：2

担当教員：大貫 隆史

コード：LB53406, 科目ナンバリング：LHM-LIT320J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：Thomas Hardy, The Return of the Native (1)

2. 授業の目的と概要：トマス・ハーディ『帰郷』の前半を読んでいます。ハーディの小説は、近代あるいは産業革命という衝撃的な経験のなか、知識を持つとする個人が、どう共同体と関わり合えるのか、という重大な問題に正面から取り組んでいるものです。その意味では、わたしたちにとってごく身近な問題を扱った小説でもあります。本演習では、毎回担当者を決めて、該当箇所の日本語翻訳とコメントを提供してもらいます。

3. 学習の到達目標：(1) 小説の基本的な形式について理解を深める
(2) コミュニケーションとしての文学という観点への理解を深める
(3) 英語の原書を読解できる英語能力を涵養する

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨN
2. The Return of the Native (1)
3. The Return of the Native (2)
4. The Return of the Native (3)
5. The Return of the Native (4)
6. The Return of the Native (5)
7. The Return of the Native (6)
8. まとめ (1)
9. The Return of the Native (7)
10. The Return of the Native (8)
11. The Return of the Native (9)
12. The Return of the Native (10)
13. The Return of the Native (11)
14. ディスカッション
15. まとめ (2)

5. 成績評価方法：発表と授業参加 50%・レポートないしは試験 50%

6. 教科書および参考書：The Return of the Native (Penguin Classics)

ISBN コード：9780140435184

出版社、ISBN に注意して入手してください

7. 授業時間外学習：予習箇所を事前に必ず学習してくること

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学演習Ⅱ

曜日・講時：水曜 3 限

セメスター：6 単位数：2

担当教員：大貫 隆史

コード：LB63403, 科目ナンバリング：LHM-LIT321J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：Thomas Hardy, The Return of the Native (2)

2・授業の目的と概要：トマス・ハーディ『帰郷』の後半を読んでいきます。ハーディの小説は、近代あるいは産業革命という衝撃的な経験のなか、知識を持つとする個人が、どう共同体と関わり合えるのか、という重大な問題に正面から取り組んでいるものです。その意味では、わたしたちにとってごく身近な問題を扱った小説でもあります。本演習では、毎回担当者を決めて、該当箇所の日本語翻訳とコメントを提供してもらいます。

3. 学習の到達目標：(1) 小説の基本的な形式について理解を深める
(2) コミュニケーションとしての文学という観点への理解を深める
(3) 英語の原書を読解できる英語能力を涵養する

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. インTRODクシヨN
2. The Return of the Native (12)
3. The Return of the Native (13)
4. The Return of the Native (14)
5. The Return of the Native (15)
6. The Return of the Native (16)
7. The Return of the Native (17)
8. まとめ (1)
9. The Return of the Native (18)
10. The Return of the Native (19)
11. The Return of the Native (20)
12. The Return of the Native (21)
13. The Return of the Native (22)
14. ディスカッション
15. まとめ (2)

5. 成績評価方法：発表と授業参加 50%・レポートないしは試験 50%

6. 教科書および参考書：Thomas Hardy, The Return of the Native (Penguin Classics)

ISBN: 9780140435184

出版社、ISBN に注意して入手してください

7. 授業時間外学習：予習箇所を事前に必ず学習してくること

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：英文学演習Ⅲ

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：5 単位数：2

担当教員：TINK JAMES MICHAEL

コード：LB51207, 科目ナンバリング：LHM-LIT322E, 使用言語：英語

1. 授業題目：英語詩：抒情詩における時間、空間、そして世界

2・授業の目的と概要：叙情詩とは、言語を特別な発話の瞬間として用いるものであり、さらに言えば、読者に言語を通じて異質な時間と空間の感覚を味わわせ、あるいは想像力によって世界観を創造させるものである。本講義では、英語の短詩を概観し、それらが如何に多様な時間と空間の印象や観念を用いているかを探求する。16 世紀から現代に至る英語詩の広範な年代順の歴史を辿りつつ、文学形式主義と技法、感覚・感情・情動への読解、文脈を重視する歴史批評、心理学的アプローチなど、異なる文学批評的アプローチを通じて詩を楽しむ方法を考察する。毎週、学生は事前にオンラインで提供される短詩を読み、授業内でグループ討論を行う。

3. 学習の到達目標：1: 英語の短詩を読むこと；2: 詩を読むための基本的な技法を理解すること；3: 英語圏（英国、アイルランド、アメリカ）の文学史についてさらに学ぶこと；4: 聴解力を向上させること；5: 短いコメントを通じて英語のライティングスキルを向上させること；6: 学生は読解力・聴解力、文学批評の知識、異文化理解力を向上させるべきである。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1: はじめに：叙情詩と叙事詩
 - 2: 牧歌的時代：クリストファー・マーロウ『情熱的な羊飼いが恋人に捧げる詩』
 - 3: 宮廷的時代：ウィリアム・シェイクスピア『ソネット 1』
 - 4: その日を生きよ／官能的な詩：アンドルー・マーヴェル『恥ずかしがり屋の恋人に捧げる詩』
 - 5: 神秘的な時間：ヘンリー・ヴォーン『世界』
 - 6: 夜間：アン・フィンチ、ウィンチェルシー伯爵夫人『夜想』
 - 7: ロマン主義と民俗文化：ウィリアム・ワーズワース『ルーシーの詩』
 - 8: ロマン主義の頌歌：ジョン・キーツ『ギリシャの壺に捧げる頌歌』
 - 9: アメリカの崇高：エミリー・ディキンソン
 - 10: モダニズム：イメージ派詩人
 - 11: 1930 年代の非常事態：W・H・オーデン「W・B・イェイツを追悼して」
 - 12: 告白の時間、癒しの空間：シルヴィア・プラス「パパ」
 - 13: 戦後リアリズム：フィリップ・ラーキン「聖霊降臨祭の婚礼」
 - 14: アメリカン・ポストモダン：「ダフィー・ダック・イン・ハリウッド」
 - 15: 深遠なる時間：アリス・オズワルド「ダン：干上がった川のための詩」
- DeepL.com（無料版）で翻訳しました。

5. 成績評価方法：反応コメント 30%期末試験 30%最終レポート課題 40%

6. 教科書および参考書：教科書なし：すべての詩はオンラインで自由に閲覧可能

7. 授業時間外学習：事前読書；英語による短い課題

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：英語圏文学・文化研究実践演習 I

曜日・講時：金曜 3 限

semester：5 単位数：2

担当教員：大貫 隆史、講師（非）

コード：LB55405, 科目ナンバリング：LHM-LIT341J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：研究発表の実践

2・授業の目的と概要：この演習では、英語圏の文学や文化的作品について、それをめぐるコミュニケーションの実相について、先行研究を踏まえつつ発表を行ってもらふことを目的とします。

- 3. 学習の到達目標：**(1) 学術的な発表の基本的な形式について理解を深める
(2) コミュニケーションとしての文学という観点への理解を深める
(3) 英語の原書を読解できる英語能力を涵養する

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. Introduction
2. Presentations
3. Presentations
4. Presentations
5. Presentations
6. Presentations
7. Presentations
8. Presentations
9. Presentations
10. Presentations
11. Presentations
12. Presentations
13. Presentations
14. Presentations
15. Discussion

5. 成績評価方法：発表、参加度合い、レポートを総合的に判断して評価する。

6. 教科書および参考書：・渡邊雅子『論理的思考とは何か』（岩波新書）→全員購入してください
・資料などを他に配布します

7. 授業時間外学習：演習内で取り上げられた作品や先行研究などを、読んだり調べたりすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

本演習は、原則として、英文学専修所属の学生のみ履修できます。ただし、本演習に関連するトピックで論文を書く場合などは、履修を認める場合があります。

科目名：英語圏文学・文化研究実践演習Ⅱ

曜日・講時：金曜3限

semester：6 単位数：2

担当教員：大貫 隆史、講師（非）

コード：LB65403, 科目ナンバリング：LHM-LIT342J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：研究発表の実践（発展的）

2・授業の目的と概要：この演習では、英語圏の文学や文化的作品について、それをめぐるコミュニケーションの実相について、先行研究を踏まえつつ発展的な発表を行ってもらうことを目的とします。

3. 学習の到達目標：（1）学術的な発表の発展的な形式について理解を深める
（2）コミュニケーションとしての文学という観点への理解を深める
（3）英語の原書を読解できる英語能力を涵養する

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. Introduction
2. Presentations
3. Presentations
4. Presentations
5. Presentations
6. Presentations
7. Presentations
8. Presentations
9. Presentations
10. Presentations
11. Presentations
12. Presentations
13. Presentations
14. Presentations
15. Discussion

5. 成績評価方法：発表、参加度合い、レポートを総合的に判断して評価する。

6. 教科書および参考書：プリントなどを配布します

7. 授業時間外学習：演習内で取り上げられた作品や先行研究などを、読んだり調べたりすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

本演習は、原則として、英文学専修所属の学生のみ履修できます。ただし、本演習に関連するトピックで論文を書く場合などは、履修を認める場合があります。